

令和3年2月19日

保護者の皆様

仙台市立東宮城野小学校
校長 青木 敏彦

教育活動に関するアンケートの集計結果について

春寒の候、保護者の皆様にはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、厚く感謝申し上げます。

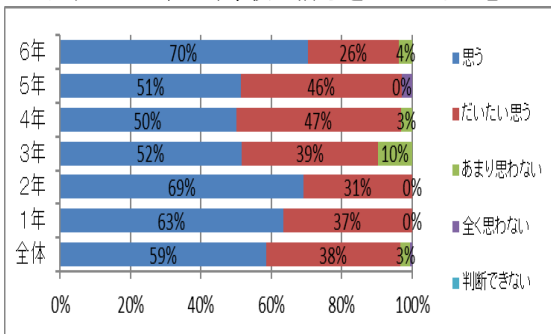
さて、保護者の皆様に御協力をいただきました「教育活動に関するアンケート」の結果がまとまりましたので、下記のとおりお知らせいたします。学校ではこの結果を参考に、教育活動の成果、課題を明らかにし、次年度の教育活動に生かしていきたいと考えております。

アンケートへの御協力につきまして、改めて感謝申し上げますとともに、次年度の教育活動に対する御理解・御協力をお願い申し上げます。

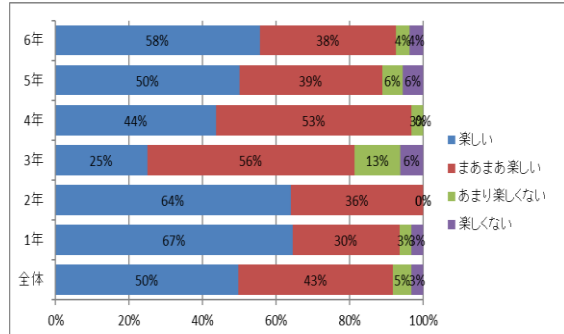
○保護者アンケートの結果

○児童アンケートの結果

1 お子さんは楽しく学校生活を送っていると思いますか

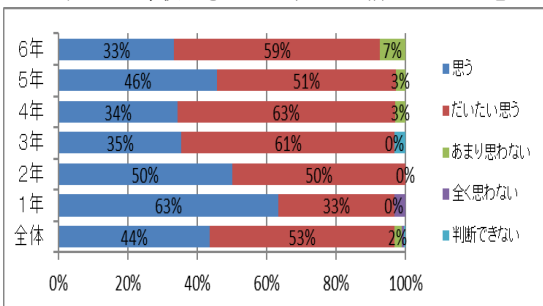


1 学校は楽しいですか

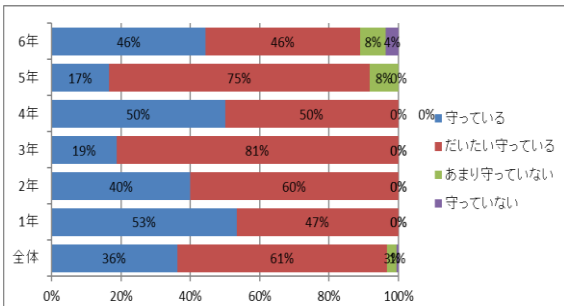


児童の約93%、保護者の97%が学校生活が楽しいと思っている傾向にあり、良好な学校生活を送っている児童が多いことが分かります。一方、約8%の児童が「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答しているので、一人一人に寄り添った指導を行い、楽しいと思える学校づくりを推進していく必要があります。

2 お子さんは学校のきまりを守って生活していると思いますか

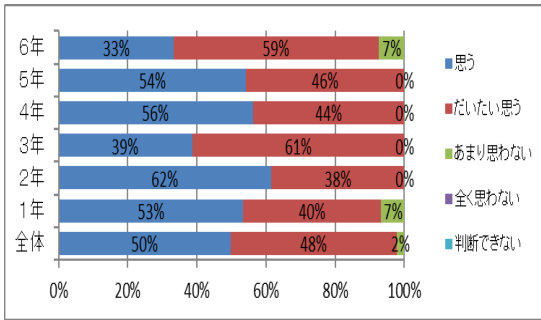


2 学校のきまりを守って生活していますか

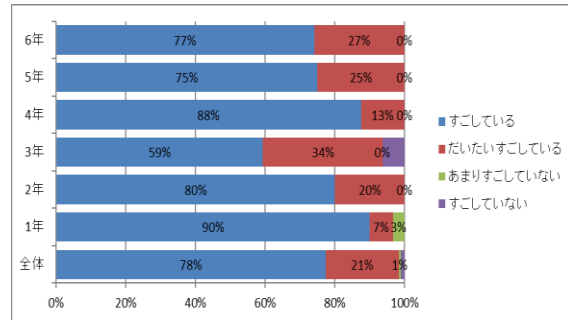


児童、保護者ともに約97%がきまりを守ることができていると回答しています。非常に高い水準ですが、上学年になると判断基準が少し厳しくなり、「守っている」割合は少し低くなっています。学校では「守っていない」「あまり守っていない」と回答した児童に対して、「ともだちルール」や「東宮っ子マナー」等、子供たちが話し合って作った「自分たちのルール」を徹底して守るよう指導していきたいと思ひます。

3 お子さんは学校で友達と仲良くすごしていると思いますか

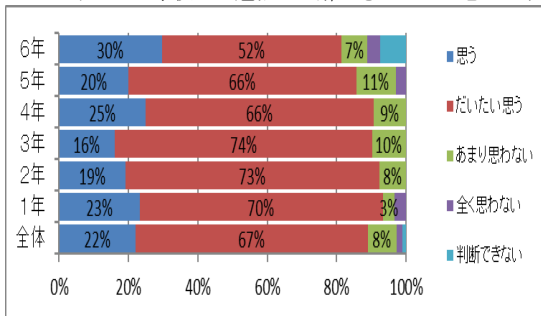


3 ともだちと仲よくすごしていますか

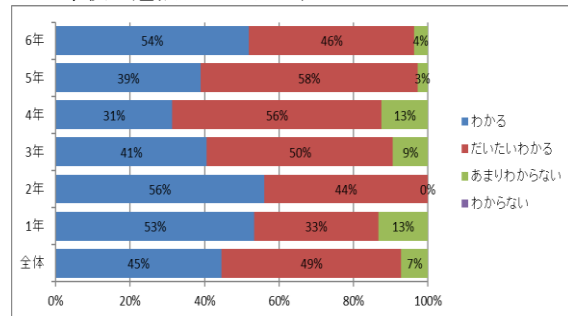


保護者、児童とも、「仲良くすごしている」「だいたい仲良くすごしている」を合わせると98%以上と良い結果となっています。これは、本校の伝統的な学校文化、小規模校のメリットの一つと考えられます。また、今年度は感染症予防のため回数は少なくなりましたが、計画的にたてわり活動を取り入れたり、地域の特徴を生かした教育活動に取り組んだりすることで児童の自己肯定感を高めることができていると考えられます。今後も学校生活全体を通して、児童のコミュニケーション能力を高め、全ての児童が「友達と仲良く過ごし、いじめは絶対にしない」という意識をもって、学校生活を送ることができるよう指導を続けていきたいと考えます。

4 お子さんは学校での勉強を理解できていると思いますか

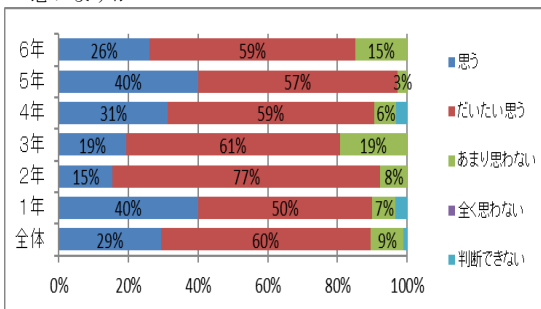


4 学校の勉強はわかりますか

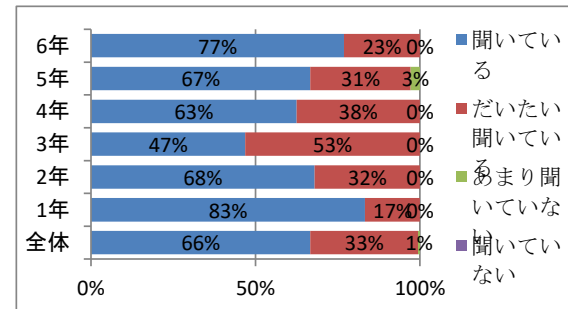


「わかる、だいたいわかる」と答えている児童は94%、保護者は89%でした。昨年度と比較すると児童が2%、保護者が5%増えています。勉強が分かることで学校生活が充実し、自己肯定感が高まります。学校としては、「あまりわからない」「わからない」と答えた児童に対して、理解ができていない内容についてしっかり把握し、少数指導や個別の課題等で学習の理解を深めてまいりますので、御協力をお願いいたします。

5 お子さんは先生や友だちの話をしっかりと聞いていると思いますか

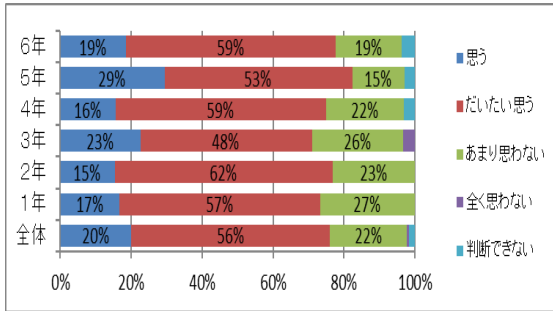


5 先生や友だちの話をしっかりと聞いていますか



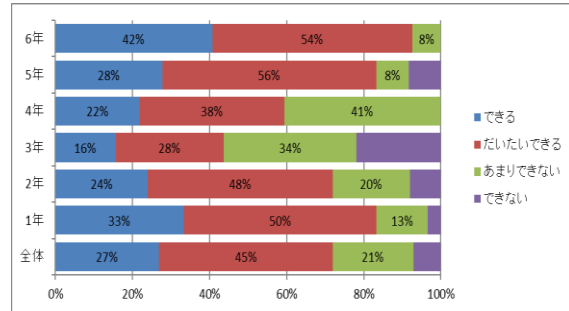
児童のほぼ全員が、話をしっかりと聞いていると答えています。一方、保護者の評価では、よく聞いていないという回答も見られます。新しい学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」が求められています。対話的な学びが成立するためには人の話を聞くことが大切です。今後も、協働型学校評価等を通して、学校だけでなく、家庭生活など、さまざまな場面で、しっかりと話を聞く力を育てていきたいと考えますので、御協力をお願いいたします。

6 お子さんは自分の考えや思っていることを話すことができますか

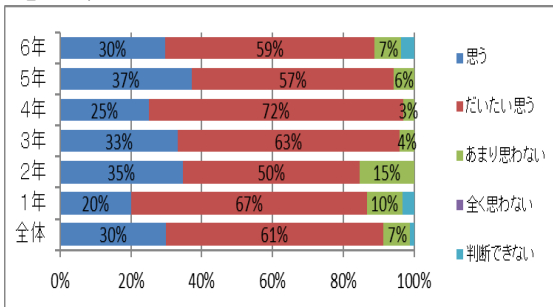


昨年度と同様に、聞く力と比べ、児童の自己評価は低くなっています。保護者の評価でも「あまりできていない」の割合が多く、**本校の児童の課題**であることが分かります。自分の考えを相手に分かりやすく伝える（話す）ことは、本校の協働型学校評価「人とよりよく関わる力を育てる」の重点目標です。目標を達成するために、引き続き授業中だけでなく、朝の会や帰りの会、学校行事、たてわり活動等で児童が感想や意見などを意図的に話す機会を設定し、話す力を高めていきたいと考えています。

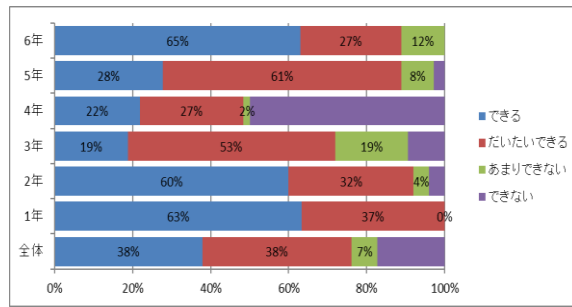
6 自分の考えや思っていることを話すことができますか



7 お子さんはあいさつや場に応じた言動ができていますか

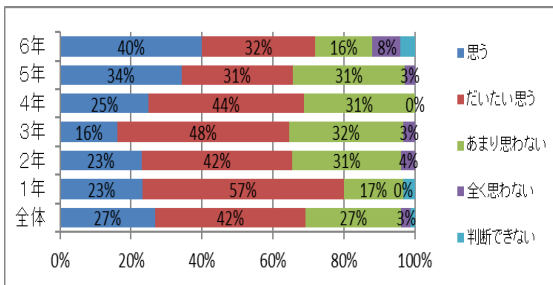


7 あいさつや正しいことばづかいができていますか

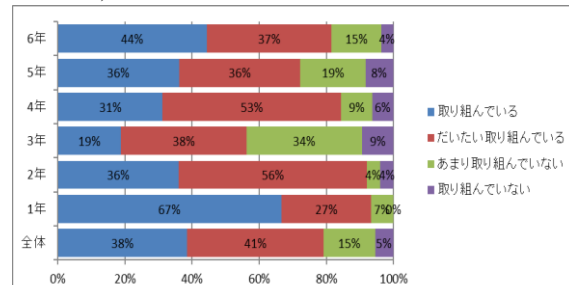


保護者の91%が「できる、だいたいできる」と回答したのに対し、児童は76%と**約15ポイントの差**がありました。昨年度まで児童会で行っていた「あいさつ運動」などの取り組みによって高まっていた挨拶に対する児童の意識が、今年度はコロナの影響であいさつ運動を実施できなかったことが要因の一つと考えられます。今年度は手立てを工夫して子供たちの挨拶に対する意識を高め、児童にとって挨拶が日常的なものとなるよう指導していきたいと考えますので、引き続き、御家庭の御協力をお願いいたします。

8 お子さんは家庭での学習は自分から進んで取り組んでいますか

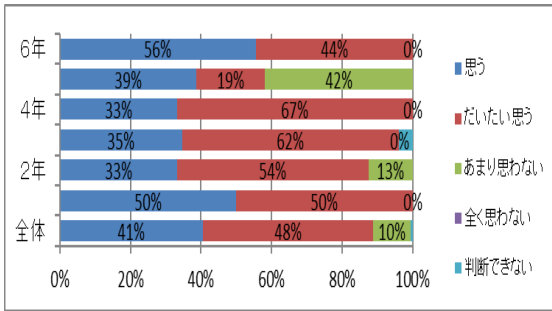


8 家庭での学習に自分からすすんで取り組んでいますか



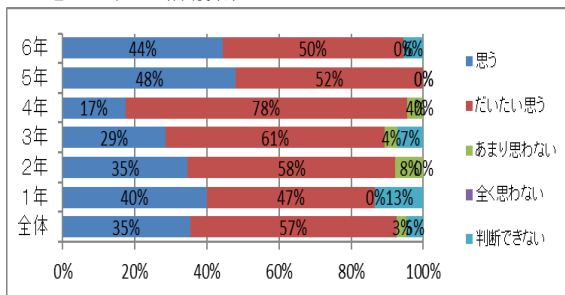
家庭学習への取り組みについては、昨年度と同様に、**学年による差や個人差が大きくなっています**。特に低学年のうちに家庭学習の習慣を身に付けることが大切です。また、家庭学習での復習が知識の定着に大きく関わっているという研究結果もあります。これからも「東宮城野小スタンダード」を基に、各学年に応じた宿題や家庭学習の内容などについて、学校と家庭で共通理解を図りながら家庭学習に取り組ませていきたいと考えます。

9 本校の教育活動に満足していますか（保護者）



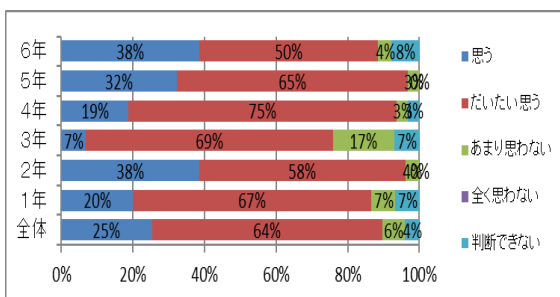
89%の方が「満足、だいたい満足している」と答え、約10%の方が「あまり思わない」「判断できない」と回答されました。今後は、目標をより明確にし、保護者の皆様に分かりやすく伝えられるように努力していきたいと考えます。

11 学校は保護者や地域の意見等に適切に対応していると思いますか（保護者）

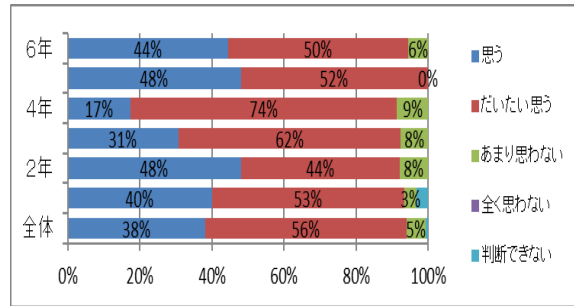


この項目については、92%の方が良い評価をしている一方、「あまり適切に対応していない」という方もいらっしゃいます。学校としましては、対応が適切ではなかったと思われる点について真摯に反省し、改善を図っていきたく考えます。学校の対応等でお気付きの点などございましたら遠慮なくお知らせください。

12 お子さんは、自分の考えを持ち、相手に分かりやすく伝えることができますか（保護者）



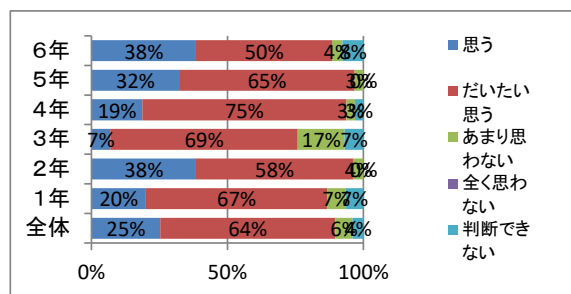
10 学校からの情報が適切に提供されていると思いますか（保護者）



学校からの情報提供については、よい傾向の評価が90%を超えています。今後もブログや学級だより等でこまめに情報を発信していきたいと考えます。



9 自分の考えを持ち、相手に分かりやすく伝えることができますか（児童）



今年度の本校の協働型学校評価の重点目標は、「自分の考えを持ち、分かりやすく伝えることができる児童の割合を全体の80%以上にする」ことです。アンケートの結果では児童は83%、保護者は89%と、共に80%を超えており、目標を達成したと考えられます。一方で、約17%の児童が「あまりできない」「できない」と回答しています。自分の考えを持ち、分かりやすく伝えることができる力は、これからの時代をたくましく生きていくうえで、ますます重要になってきます。学校では、今後も「自分の考えを持ち、分かりやすく伝えることができる児童の育成」をめざし、教職員一丸となって取り組んでまいります。御家庭でもお子さんの気持ちを聞く機会を増やすなど、御協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。